

表をたすたより市議團員約八百名を元城町
國光館に集合せしめて深田、栗山の解決方
を演説をたす

一月六日

一復帰工身 二千名 計 三百九十五名

一出勤工身 七百三十四名

一林田工協課長 河部清七 鈴木野田

は調停依頼のため協調会に理事を訪問

一月七日

一復帰工身 十人名 計 四百十三名

一出勤工身 七百五十五

一解雇と決定して工身の對して深田、栗山を甚

礎より工身の支拂を始む

一四十三名に工身の支給 金額 五千五百六十円五十九分

一月八日

一月五日 日心し 未だ未だ解決

一合社は各系各系を以て金部出勤工身一時

社長が竹重役から解決のついでに對し控持す

一月六日 一時市役所に於て深田、理事、後述、市長

鈴木、幸作、天野、社長、小竹、重役、林田、大串

各課長、同席、深田、理由から、栗山、國光、若山、對

し、市議、解決、する、總覽書の発表、並に、經過

を、人の表す。

一月十日 市議團員二百名は、國光館に